

## 減らない地下埋設物事故 安全確認の徹底を！



昨年度から地下埋設物事故が多発しています。一人ひとりが安全確認を徹底し、事故を未然に防ぎましょう。

- ▷ 今年4～7月の地下埋設物事故もすでに8件発生し、昨年度の同時期の7件を上回って多発傾向が続いています
- ▷ 今年発生した8件のうち、2件は試掘中に誤って埋設管を破損したもので、2件は除草作業中に草刈り機でケーブル等を切断したものです
- ▷ 今年4～7月の重点対策5項目のうち地下埋設物事故は件数の73%を占めており、際立っています

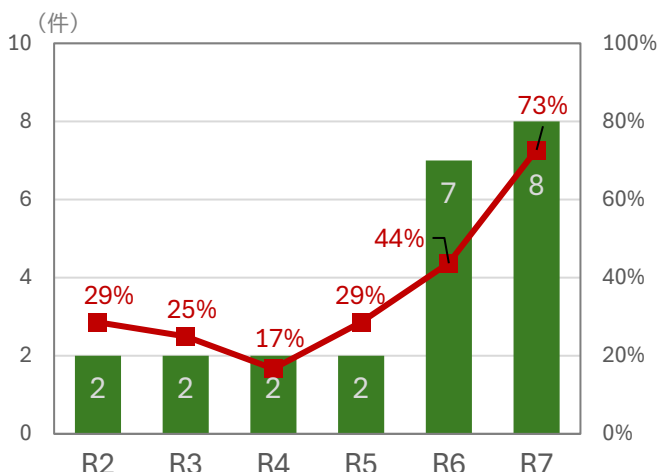
事前の調査と慎重な作業が、地下埋設物事故を防止する第一歩です。

図面等での確認に加え、「想定外の埋設物があるかもしれない」という意識を常に持ち、調査を徹底して試掘及び本掘削に臨みましょう。



社会に大きな影響を与える恐れがあります。  
地下埋設物事故の削減に一層努めましょう！

■4～7月に発生した地下埋設物事故件数



■ 4～7月に発生した地下埋設物事故件数

■ 4～7月に発生した重点対策5項目全件数に対する地下埋設物事故件数の割合

## 今年の暑さは異常！ 熱中症予防を万全に！

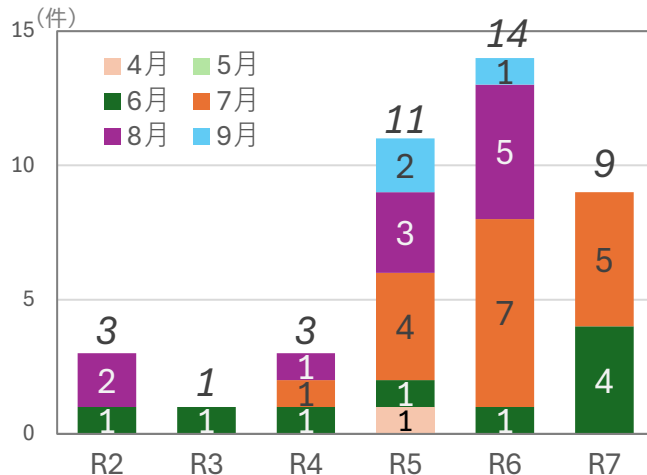


令和7年度は各地で過去最高気温となるなど、記録的な猛暑となっています。この影響で今年4～7月に熱中症の発生が多数、報告されています。

厳しい暑さと日差しが続く中、体調と安全を最優先に、こまめな休憩と水分補給を行い、無理のない作業を心がけましょう。

- ▷ 今年6月は異常な暑さが続き、平年を大きく上回る報告数でした。7月に入ってからも多く報告が寄せられ、7月までの累計件数はR2以降で最多です
- ▷ 熱中症の報告が多いことが問題なのではありません。大切なのはしっかりと予防対策を行い、体調不良を感じたら無理せず休み、そして必ず報告することです
- ▷ 暑熱順化が進むことで熱中症のリスクが下がります。長期の休みで暑さへの慣れが弱まるため、休み明けは特に注意しましょう

■報告のあった熱中症件数  
※R7のみ7月末日までの集計



一人ひとりが熱中症に対する正しい知識を持ち、対策を実践するとともに、現場全体でも万全の対策を講じましょう

# 死角の先に危険あり！ 合図者の指示を守ろう！

～ 合図者はあなたのもう一つの目 必ず指示に従いましょう ～

重機で作業するときは、必ず事前に合図を送る人（合図者）を決めましょう。重機オペレーターは、自身の見えている範囲には多くの死角があり、周囲の状況をすべて把握している訳ではないことを十分理解し、必ず**合図者の出す合図を確認してから重機を動かしましょう**。合図を無視して動かすことは、思わぬ事故やケガにつながります。



## 事事故例 安全対策を行わず、作業員と重機が接触

### 【事故概要】

トンネル工事の掘削ずり搬出において、下請が元請の確認を得ず、ダンプトラック併用による搬出作業を行った。

搬出方法に応じた立入防止措置を講じていなかったため、バックしてきたタイヤショベルと切羽作業員が接触した。



### 【主な要因】

- ① 元請による施工方法の確認ができていなかった。
- ② 立入禁止措置や合図者がいない状態で作業を行った。



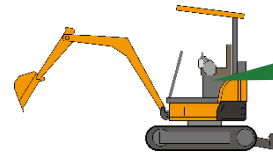
労働安全衛生規則 第百四条 運転開始の合図

- 1 事業者は、機械の運転を開始する場合において、労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、一定の合図を定め、合図をする者を指名して、関係労働者に対し合図を行なわせなければならない。
- 2 労働者は、前項の合図に従わなければならない。



- **合図者を定める！**  
**合図を確認！**  
**それから操作！**

合図者の配置



合図を確認して操作



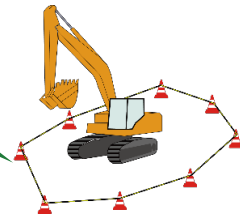
労働安全衛生規則 第百五十八条 接触の防止

事業者は、車両系建設機械を用いて作業を行うときは、運転中の車両系建設機械に接触することにより危険が生ずるおそれのある箇所に当該作業場において作業に従事する者が立ち入ることについて、禁止する旨を見やすい箇所に表示することその他の方法により禁止しなければならない。ただし、誘導者を配置し、その者に当該車両系建設機械を誘導させるときは、この限りでない。



- **重機の作業範囲には作業員を立ち入らせない**

立入禁止措置



誘導者を配置



重機が動くので離れてください。

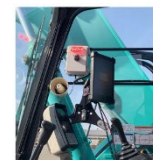
- **軽率な行動による事故に備え、注意を促す機器を導入する**

例えば・・・

設定範囲に作業員が立ち入ると、重機オペレーターと作業員の双方に音や光などで警告する機器など



磁界検知範囲  
(磁界検知ボックス接続台数と設定により検知範囲設定が可能)



操縦席に設置された通知用外部機器  
(検知時にスピーカーとLEDで通知)



ヘルメットに装着されたタグ  
(検知時にLEDとブザーで通知)

作業者と重機の接触事故防止「重機向け作業接近警告システム」  
NETIS登録番号：KT-250021-A 出典：NETIS